

授業科目		対象学科・専攻	年次	期別
比較文化概説 Introduction to Comparative Culture		全学科 (留学生対象)	2年次	後期
講義・演習・実技・ 実習・実験	単位数	卒業認定	担当教員	
講義	2	選択	林 伸一	
概要				
日本の文化や風習を知り、自分の出身国（日本人の場合は外国）との違いを認識するとともに、異なる文化の存在への関心と理解を深める。				
到達目標				
(1) 日本の文化について説明することができる。 (2) 母国の文化と日本の文化の違いについて、テーマを選び、発表することができる。				
授業内容とすすめ方				
1 おもてなしの心・日本式のマナーと日本事情 2 山口事情と山口の伝統文化・歴史 3 日本の若者のファッション：ダメージジーンズ 4 高齢化社会の日本事情 5 健康にいい日本食：栄養バランス 6 日本の映像芸術：フォトコンテスト 7 日本の色形容詞と実際の色彩 8 日本の四季：春夏秋冬（雪景色） 9 日本のソフトパワーとなったアニメ 10 山口の温泉と足湯 11 ヒューマンライブラリー（人間図書館） 12 朗読に挑戦してみよう！（金子みすゞ・中原中也） 13 世界に広がるカワイイ 14 紙芝居で知る日本の昔話（桃太郎、一寸法師、かぐや姫） 15 紙芝居で知る世界の昔話（裸の王様、ジャックと豆の木）				
参 考 文 献	『おいでませ山口5』PPT教材、紙芝居教材			
メ ッ セ ー ジ な ど	日本の文化を紙芝居やパワーポイント教材で学びます。			

ルーブリック評価を用いた成績評価						
到達目標	優	良	可	不可	評価手段	評価比率
(1) 日本の文化について理解することができる。	日本文化についてほぼ完璧に理解できる。	大きな間違いなく、ほぼ日本文化を理解できる。	間違いはいくつかあるが、基本的な日本文化理解ができる。	日本の文化について理解することができない。	小テスト 定期試験 (知識・理解)	25%
(2) 日本の文化について説明することができる。	日本文化についてほぼ完璧に説明できる。	大きな間違いなく、ほぼ日本文化を説明できる。	間違いはいくつかあるが、基本的な日本文化の説明ができる。	日本の文化について説明することができない。	小テスト 定期試験 (知識・理解)	25%
(3) 母国の文化と日本の文化の違いについて、テーマを選び、発表することができる。	母国の文化と日本の文化の違いについて、発表することができる。	母国の文化と日本の文化の違いについて、説明することができる。	母国の文化と日本の文化の違いについて、理解することができる。	母国の文化と日本の文化の違いについて、理解することができない。	口頭発表 定期試験 (関心・意欲・表現力)	25%
(4) 日本式のマナーを実践し、日本事情を理解できる。	日本式のマナーを実践し、日本事情をよく理解できる。	日本式のマナーを適切に実践し、日本事情をほぼ理解できる。	ある程度、日本式のマナーを実践し、日本事情を理解できる。	日本式のマナーを実践し、日本事情を理解できない。	口頭発表 定期試験 (関心・意欲・表現力)	25%